

# 地域と学校をつなげる上で大切なことは？

■場所：市役所 5 階 ■対象：地域 CN 20 名 ■時間：50 分程度 ■手法：ラベルワーク

**ワークのねらい** 上手くいっていることと課題を見つめ直すことで、地域と学校の連携・協働を進める上で大切なことを考える。  
**準備するもの** 付箋3色（グループ数×50枚） 模造紙（各グループ1枚） サインペン  
 ホワイトボード（各グループ）

時間/担当	学習の流れ	留意点	準備
【青木】 9:45 5分	【はじめに】 【研修の趣旨説明】担当：青木		
【森山】 9:50 5分	今日は、市内の地域コーディネーターが一堂に会しての研修会です。皆さんの活動の中で学校や地域で上手くいっている取組や苦勞されていることなどを出し合いながら、地域と学校がより良いつながりを持つために大切だと思うことを皆さんで情報交流し、これからの活動に活かしていただけるようにと思っています。今年度から勤務された方も何年か経験を積まれた方も一緒にいろいろな情報交流ができればと考えています。		
<b>《ワークショップの前にルールとマナーを確認しましょう》</b>			
【森山】 9:55 13分	<b>【ワークショップ①】</b> ①「上手くいっていること」、「がんばっていること」、「よいと思っていること」を <b>ピンクの付箋</b> に書いてください。 ②グループで書いたことを紹介しながら、ホワイトボードに付箋を貼ってみてください。 ③同じ内容同士で島をつくり、見出しを付けてみてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ多く書くように促す。</li> <li>・1枚の付箋に一つのことだけを記載</li> <li>・正解はないので何でも記載</li> <li>・付箋は並びかえてよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的 ドンドン</li> <li>・他者尊重 ウンウン</li> <li>・守秘義務 シー</li> </ul>
【藤内】 10:08 10分	<b>【ワークショップ②】</b> ①「苦勞していること」、「難しいこと」を <b>ブルーの付箋</b> に書いてください。 ②グループで書いたことを紹介しながら、ホワイトボードに付箋を貼ってみてください。 ③同じ内容同士で島をつくり、見出しを付けてみてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋を貼りながら島をつくらるところまでやってもらう</li> <li>・矢印を書くなど、関係が分かるようにしてもよい</li> </ul>	付箋3色 [P、B、Y] WB(G毎) 模造紙(G毎) サインペン
【藤内】 10:18 15分	<b>【ワークショップ③】</b> ①ワークショップ①②で出した意見を見ながら、「大切にしたいこと」、「やってみたいこと」を <b>イエローの付箋</b> に書いてください。 ②書いた付箋を紹介しながら、ワークショップ①②の中間部分に付箋を貼ってみてください。		最初にWB上に「上手くいっていること」と「苦勞していること」をボードの両端に貼っておく ⇒ ワークショップ②が終了した時点で「大切にしたいこと、やってみたいこと」を掲出。
【森山】 10:33 6分	<b>【シェア】</b> 1分程度で、グループでの意見を発表してください。		

<p>【森山】 10:39 5分 10:45</p>	<p>【まとめ】 全体の様子やグループ発表を踏まえて感じたことを全体に伝える。</p> <p>いかがでしたか。初めて地域コーディネーターとして活動された方にとっては様々な視点が得られたことと思います。また、経験を積んでいらっしゃる方にとっても新たな気付きがあったことと思います。本日の研修会でさまざまな交流が持てたことを財産として、地域CNとして学校と地域を結びながら、児童生徒が自分が暮らす地域に誇りが持てるように学校や教育委員会とともに活動していければ…と思います。 今日のご縁を大切に、参加して下さった皆さんの横の繋がりを今後の活動に活かしていただければ幸いです。 本日はありがとうございました。</p>	
<p>《最後にルールとマナーを確認しましょう》</p>		